

おおま

No. 89
岬の光

平成28年5月2日発行

議会だより



有志3名が、自発的に弁天島にある弁天神社本殿のお色直しと、老朽が激しい鳥居2基の取り換え作業を始めたと言う。
心温まる話題ではないか...
神もうれしかろうに!!!



(弁天島)

弁天神社本殿の お色直し・鳥居取り替え

3月定例議会
主な内容

○平成28年 第1回定例会

P 2～4

○大間風力発電の報告・下北広域組合一般会計予算

P 5

○2 議員が一般質問

P 6～7

○報告・編集後記

P 8

平成28年度 当初予算

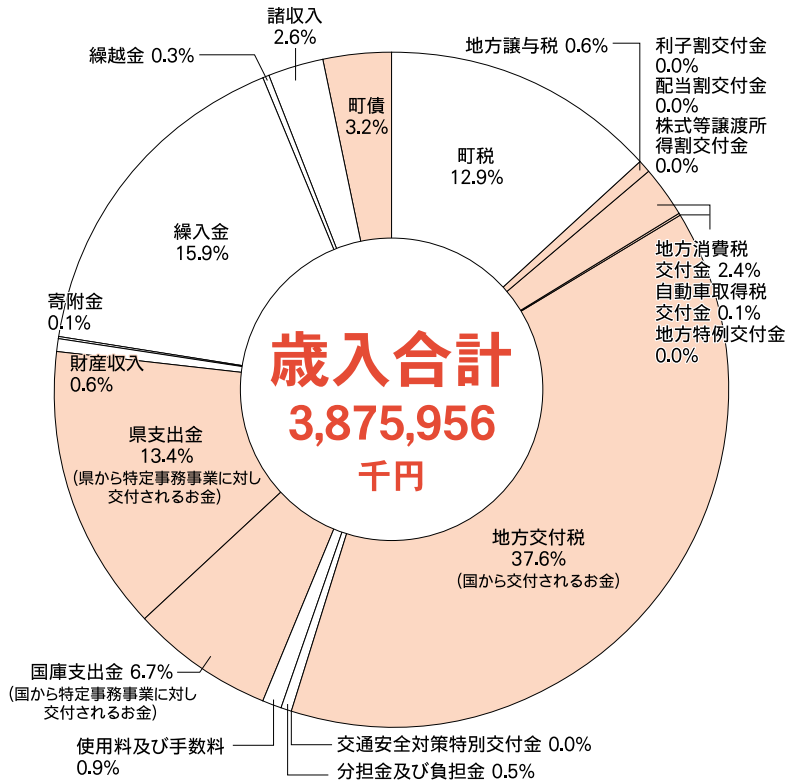
一般会計予算 38億7,595万6千円

◆歳入

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 町 税	500,716	12.9
2 地 方 譲 与 税	23,118	0.6
3 利 子 割 交 付 金	834	0.0
4 配 当 割 交 付 金	939	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	84	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	94,464	2.4
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	3,352	0.1
8 地 方 特 例 交 付 金	959	0.0
9 地 方 交 付 税	1,456,005	37.6
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	20,771	0.5
12 使 用 料 及 び 手 数 料	35,659	0.9
13 国 庫 支 出 金	261,002	6.7
14 県 支 出 金	519,674	13.4
15 財 産 収 入	23,739	0.6
16 寄 附 金	3,900	0.1
17 繰 入 金	617,103	15.9
18 繰 越 金	10,000	0.3
19 諸 収 入	102,026	2.6
20 町 債	201,610	3.2
歳 入 合 計	3,875,956	100.0

□ 自主財源…町独自の徴収や収納
 ■ 依存財源…国や県から交付されるお金



◆歳出

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 議 会 費	65,023	1.7
2 総 務 費	680,951	17.6
3 民 生 費	732,660	18.9
4 衛 生 費	445,016	11.5
5 労 働 費	3,136	0.1
6 農 林 水 産 業 費	279,086	7.2
7 商 工 費	105,469	2.7
8 土 木 費	271,410	7.0
9 消 防 費	264,646	6.8
10 教 育 費	242,595	6.3
11 公 債 費	544,933	14.1
12 諸 支 出 金	221,031	5.7
13 予 備 費	20,000	0.5
歳 出 合 計	3,875,956	100.0



第1回 3月定例会

平成28年第1回定例会を3月7日開会し、3月16日閉会しました。

本会議に提案された議案24件、承認1件、同意1件はすべて原案どおり可決、承認、同意しました。

平成28年度 当初予算

一般会計

歳入歳出とも38億7595万円となり、前年度比2億2282万円、5.4%の減となる。

主なる事業

総務費

- 公共用施設維持運営基金積立金4751万円。
- 水産振興基金積立金3667万円。
- 大函丸購入費4756万円。
- 下広負担金6463万円。
- 原子力発電対策費1497万円。
- 参議院議員通常選挙費488万円。
- 大間町長選挙費492万円。

民生費

- 下広負担金1076万円。
- 後期高齢者医療療養給付費負担金5031万円。
- 社会福祉協議会補助金3027万円。
- 障害福祉サービス費等給付費8427万円。
- 重度心身障害者医療費1041万円。
- 国保特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計繰出金合わせて2億2076万円。
- 大間保育園運営費及び児童手当合わせて1億4789万円。
- うみの子保育園指定管理料7612万円。

衛生費

- 子ども医療費取扱委託料1440万円。
- 下北医療センター負担金1385万円。
- 各種検診及び予防接種委託料合わせて1558万円。
- 環境衛生費で下広負担金7375万円。
- 一般廃棄物収集運搬及び施設等業務委託料3304万円。
- 清掃費で下広負担金1億3748万円。
- クリーンセンターストックヤード建築工事費1749万円。
- クリーンセンター塵芥車輛購入費3062万円。

農林水産業費

- 中山間地域総合整備事業で用地購入費2500万円、事業負担金1437万円。
- 水産振興事業費補助金1370万円。
- 港整備事業負担金2500万円。

商工費

- ブルーマリンフェスティバル企画運営委託料1350万円。
- 融資対策事業貸付金1300万円。
- 海峡保養センター、養老センター指定管理料1000万円。

土木費

- 橋梁補修設計業務委託料1000万円。
- 橋梁維持補修工事費3200万円。
- 港湾改修事業負担金3900万円。
- 下水道事業特別会計繰出金1億2325万円。

消防費

- 下広負担金2億4109万円。
- 大間町消防団事務委託料1820万円。

教育費

- 奥戸小学校木造校舎建物耐力度調査業務委託料324万円。
- 奥戸中学校体育館屋根改修工事設計委託料183万円。

公債費

- 元金4億9318万円、利子5174万円の当該年度支払見込額を計上。

諸支出金

- 大間病院会計負担金2億1803万円。
- 予備費2000万円。



**国民健康保険
特別会計**

歳入歳出それぞれ10億9392万円、前年度比2962万円、2.6%の減となる。

**後期高齢者医療
特別会計**

歳入歳出それぞれ4774万円で、前年度比54万円、1.2%の増となる。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ5億4887万円で、前年度比1607万円、3.0%の増となる。

**下水道事業
特別会計**

歳入歳出それぞれ2億4585万円で、前年度比2057万円、7.7%の減となる。

水道事業会計

○収益的収入及び支出の収入1億6484万円、支出で1億6441万円。

○資本的収入及び支出の収入969万円、支出で9343万円。

※資本的収入が資本的支出に対して不足する額8374万円は内部留保資金等で補填する。

再任

固定資産評価
審査委員

○大間字
下手道36番地2
昭和25年2月13日生
松原壽廣氏
※出席議員全員の賛成をもって再任

指定管理者の指定

○指定管理者
大間町大字大間
字大間81番地
（株）グリーンストアー
代表取締役
正根 秋雄

○指定の期間
平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間

○指定管理料
1千万円（年）



**県人事委員会
勤労に基づき**

○一般職員の給料表の改定及び勤労手当の支給率の改正

○議員の期末手当の支給率の改正

○特別職職員の期末手当の支給率の改正

○教育委員会教育長の期末手当の支給率の改正

**国民健康保険税
条例一部改正**

○基礎課税額52万円を54万円に改める

○基礎課税額から減額して得た額17万円を19万円に改める

**平成27年度
補正予算**

一般会計

歳入歳出それぞれ3443万円を追加し、予算総額53億9431万円とした。

**国民健康保険
特別会計**

歳入歳出それぞれ4183万円を減額し、予算総額11億5652万円とした。

**後期高齢者医療
特別会計**

歳入歳出それぞれ15万円を減額し、予算総額4504万円とした。

**介護保険
特別会計**

歳入歳出それぞれ295万円を追加し、予算総額を5億5581万円とした。

**下水道事業
特別会計**

歳入歳出それぞれ757万円を減額し、予算総額2億5740万円とした。

水道事業会計

支出の営業費用で16万円、特別損失で5千円を追加計上し、予算総額1億6174万円とした。

**大間町過疎地域
自立促進計画の策定**

平成28年度、
32年度までの計画

- 基本的な事項
- 産業の振興
- 交通通信体系の整備
- 情報化及び地域間交流の促進
- 生活環境の整備
- 高齢者等の保健及び福祉向上及び増進
- 医療の確保
- 教育の振興
- 地域文化の振興
- 集落の整備

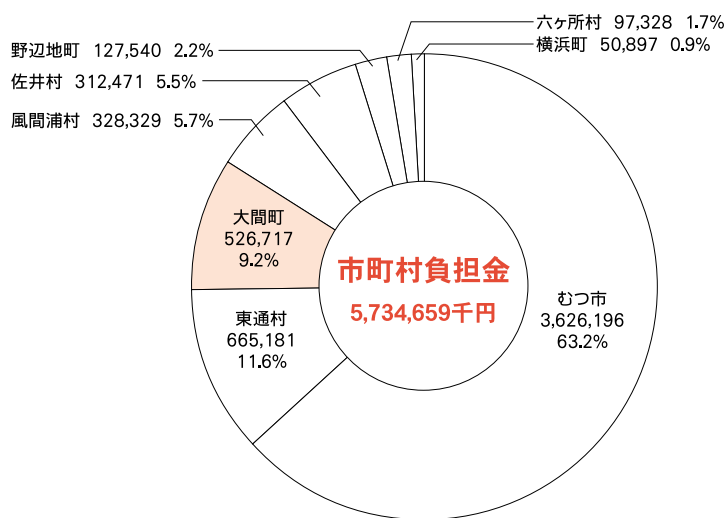
営業運転開始5月予定



大間風力発電

(株)ジエイウインド大間

発電所出力 19,500kW (エネルギー社制 2,300kW×9基)
 風車規模 ハブ高78m 羽根直径82m 羽根最高点高さ119m
 連系点 東北電力(株) 大間支線に連系
 発生電力の用途 東北電力(株)に売電



60億
607万8千円

平成28年度

下北地域広域
行政事務組合
一般会計予算

市町村負担金明細

(単位：千円、%)

	議会費	総務費	文化会館費	民生費	衛生費	消防費	公債費	合計	構成比 (%)
むつ市	1,507	60,985	97,269	42,073	1,271,115	1,488,663	664,584	3,626,196	63.2
大間町	301	11,311	—	8,749	161,775	274,706	69,875	526,717	9.2
東通村	301	12,124	—	9,229	166,243	404,473	72,811	665,181	11.6
風間浦村	301	7,899	—	4,733	77,786	197,808	39,802	328,329	5.7
佐井村	301	7,854	—	4,712	80,071	176,572	42,961	312,471	5.5
野辺地町	150	6,171	—	—	84,590	—	36,629	127,540	2.2
横浜町	150	3,045	—	—	32,505	—	15,197	50,897	0.9
六ヶ所村	150	5,094	—	—	63,923	—	28,161	97,328	1.7
合計	3,161	114,483	97,269	69,496	1,938,008	2,542,222	970,020	5,734,659	100.0

一般質問

原子力災害発生時に対応の 屋内退避施設（シェルター）の確保は！



議員 利盛 泉 岩

建設中の大間原子力発電所内における、原子力災害発生を想定し、直ちに避難できない5キロ圏内の要援護者が、一時的に避難できる施設を早い段階で確保すべきと考えるが。

町長答弁

国の原子力災害対策施設整備費補助金交付要綱では、緊急事態時、地形的条件から即時避難が容易でない想定される等の事情により、一定期間避難するための施設を対象に、施設の扉の気密性の高

いものに交換、フィルター付き換気設備、非常用発電設備を設置することで、避難条件を整うまでのあいだ過ごすことを可能とするものであるが、同補助金は発電所稼働後、又は、稼働まじかにならないと対象にならない。時期を逸することなく、注意して対処したい。

尚、同補助金は市町村、又は、養護施設等を所有する民間団体に交付されるため、制度の周知に努めたい。

再質問

去る1月26日に、九州電力川内原発の視察研修に行ってきた。発電所の視察後、川内市議会の正副議長、特別委員長他担当職員3名の方と大変有意義な意見交換をしてみました。その時、川内市内にある要援護者の屋内退避施設は、との私の質問に、市内の施設は平成24年度3棟、25年度2棟、26年度は4棟の実績と説明があった。

国が、全国の自治体に、災害時要援護者名簿の作成や、避難支援の取り組みの策定を呼びかけているが、大間では進んでいるのか。大間町の要援護者の人数をお聞きしたい。

町長答弁

補助金を確保し、整備すべきとの考えに私も同感です。お答えしましたように運転開始後か、運転開始間際でない整備の対象にならないため、必要とされる施設等を把握しながら、早い時期に支援が実施されるよう進めていければと思います。町の防災計画の中で、要援護者等の対応については、個人情報等、様々な問題も含まれておりますので、今後、理解を得ながら取り組んでまいります。また、人数については明確にお答えをすることが出来ませんが、調査を進め報告いたします。

町長答弁

再質問

私の調査では町の要援護者は平成27年12月28日現在467名とある。内閣府による原子力災害対策施設整備補助金制度は、新築ではなく既存の施設の改修等は国が全額補助してくれるとある。また、この施設は原子力災害だけでなく、津波災害にも考慮した海抜15メートル以上の高台に設定すべきで、計画中の新役場庁舎にも設置すべきと考えるが、建設場所が海抜10メートル以下で、再考が必要では。

町長答弁

再質問

大間原子力発電所はプルトニウムとウランの混合燃料で、プルトニウムはウランの20万倍も毒性が強い。危険な燃料が搬入される前に、施設の整備を是非お願いしたい。

町長答弁

原子力災害だけでなく、他の災害に対しても防災計画等の見直しを含め、補助制度を活用しながら、整備等を真剣に取り組んでいきたいと思えますし、要援護者に対する支援体制もきちんと考えてまいります。

一般質問



野 崎 信 行 議員

1 「町・ひと・仕事」

創生総合戦略をむつ市、佐井村等は発表している、大間町は。

町長答弁

広く各界から選出した委員による創生会議に於いて、今月中に総合戦略を決定し、議会に報告いたします。

2 内閣府が、「ハローワーク」を役場内に設置できると言っているが。

求人情報が事業者の了解で、オンライン提供が可能になった。端末の準備や接続に課題があり、今後、詳細調

町長答弁

査をしたい。

3 「波力発電」を岩手県釜石で実施の予定、町も取り組んでほしい。

漁業権等の課題もあり、かなり厳しい。

町長答弁

「シライイン」を小奥戸に誘致すべき。

町長答弁

離島航路の補助金を受けて運営している、航路を延伸することで、事業者に迷惑が係るのでは。

5 役場職員の「おもてなし」をCAから学んでみては。

以前、日本航空の

町長答弁

キャビンアテンダントのOBの方に、町職員、他事業所等の方々と一緒に研修を行ったが、今後、「おもてなし」が重要性を増すことが考えられるので、体制を整えたい。

6 カラスの間の斜路が暗く盗難が絶えない、防災灯を設置すべきでは。

現在、県民局に要望している。

町長答弁

従来より、広報活動でゴミの減量化を願っているところですが、

8 観光資源の「最北端の碑」の文字が見えない、ライトアップなど照明デザインをすべきでは。

現在、まぐろモニユメントなどのライトアップを行っている。最北端の碑については、配線等大規模改修

町長答弁

が必要なので、今後の課題としたい。

9 鳥根県ではサル・カモシカ等の鳥獣被害対策に「ドローン」を活用しているが。

県、関係団体との研究課題としたい。

町長答弁

材木川は県管理河川ですので、内容を精査し、必要に応じて県と協議して行きたい。

町長答弁

「奥戸いもっこ」を地理的表示保護制度(GI)に登録申請すべきと考えるが。

町長答弁

奥戸いもっこについては標準登録を優先させ、GI認定については、品質の統一、生産体制の確立後に検討したい。

12 奥戸中学校跡地を「老人ホーム」「大間町郷土博物館」として活用すべきでは。

統合について今、地域の皆様と意見交換している処で、跡地利用の議論の時期ではない。

町長答弁

13 国土強靱化地域計画を、町は策定しないのか。

町長答弁

町の防災計画等も含めながら検討をしていきたい。

町長答弁

14 どんな新庁舎がよいのか、アイデアを募集すべきでは。

16 町の良さを全国に発表する場として、「田舎から日本を変えよう」NPO法人ピーグッドカフェの加入は。

自治体が加入及び、その事を利用する方法を調査したい。

町長答弁

自治体が参加するのではなく、食品製造事業者が標準を活用するための制度です。町では塩分摂取減量削減活動を展開しています。

町長答弁

18 下北縦貫道を大間町まで延伸すべきと考えるが。

町長答弁

279号線のバイパス化に向け、要望活動を続けたい。

28の質問の中から本人が抜粋した18を掲載いたしました。

議会は、

中立・公平の立場で

九州・薩摩川内（さつませんだい）市議会との意見交換会
（平成28年1月25日～28日）

平成23年3月11日の東日本大震災以後、国内の全原子力発電所が運転停止になっていったが、昨年の8月、原子力規制委員会の審査基準をクリアー、再稼働を許された九州電力川内（せんだい）原子力発電所の視察と、川内市議会との意見交換会を実施してきた。

川内原子力発電所の原子炉は、加圧式型軽水炉（PWR）、大間原子力発電所の原子炉は改良型沸騰水型軽水炉（ABWR）と型式が違うが、施設内の安全対策等の説明、稼働中の現場の視察を行った後、川内市議会のご協力で上野一誠議長、森永靖子原子力対策調査特別委員長との意見交換を、約一時間実施、有意義な時間を共有することが出来た。



大間町議会

再稼働反対派の数と対応は。

川内市議会

反対派といわれるのは、個人もあるが団体数は12団体で、それぞれ再稼働反対の陳情書を、賛成派は72団体存在するが、一通に取りまとめ再稼働の陳情書を提出してきた。

議会としての対応は文書配布だけ。

大間町議会

大間町の経済を考へ、議会としては工事の再開を進めてきたが。

川内市議会

議会として再稼働の働きかけをしていない。議会は中立の立場でいなければならない、何故ならば原子力発電所は国策だから。会社側の安全対策の



説明と、文部科学省に出向き、原子力規制委員会での指摘の整合性を確かめる取り組みを重ねてきた。

福島事故後、住民の安全に対する考え方が違ってきたことも原子力発電所であるため、規制委員会の規制と会社側の説明を公平な立場、中立的立場で

議会は審議してきた。

大間町議会

原子力対策調査特別委員会の委員10名の中に慎重派（反対派）の議員はいるのか。

川内市議会

共産党の議員もおりますし、慎重派の方もおります。ですから安全対策、地質等、勉強を重ね、会社側には厳しく対応してきました。

編集後記

新しい年度が始まりました。新入生、新社会人になられた皆さんおめでとうございます。

ここ本州最北端の地、大間の春の風物詩といえば、毎年、恒例のウニ籠漁が三月一日に解禁となり、各荷捌所が朝早くからウニの荷受けで賑わっています。漁業が元気であることは町の活性化に繋がる。

これからは、山菜の時期となりますが熊の出没の時期ともなりますので、山菜取りには十分注意しましょう。

（記）竹内勝雄

議会広報編集委員

委員長

加藤 正喜

副委員長

佐々木 信彦

委員

竹内 勝雄

千代谷 誠

竹内 弘

宮野 昭一